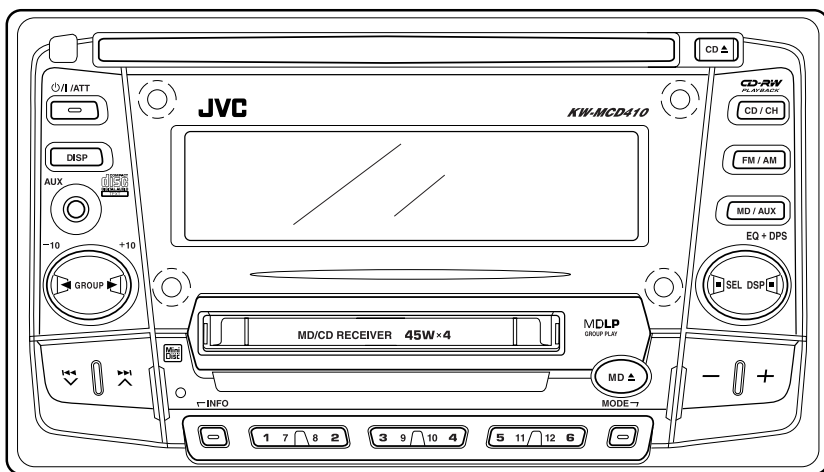


# JVC

# 取扱説明書

## MD/CDレシーバー

# 型名 KW-MCD410/-A/-P/-Y



## MDLP



— お買い上げありがとうございます —

**!**ご使用の前に

この「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0968-001A

# もくじ

	ページ		ページ
● 安全上のご注意	3～5	・ダイレクト演奏	23
● 使用上のご注意	6～7	・リピート演奏(くり返し演奏)	24
・ CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて	7	・ランダム演奏	24
・ MDの取扱いについて	7	・イントロスキャン	24
● 各部の名前	8～9	・ CDのお手入れ	24
● リモコン(RM-RK41J : 別売り)		・ CD演奏中の表示内容を変える	25
の使いかた	10～11	・ CDを取り出す	25
・ リモコンの使いかた	10	・ CDの盗難防止	25
・ 電池の入れかた	10	● CDチェンジャーのCDを聞く	26～27
・ 各部の名前	11	・ 全曲演奏(全CDのくり返し演奏)	26
● 基本操作	12～13	・ 数字ボタンでCDを選ぶ	26
・ 時計を合わせる	13	・ リピート演奏(くり返し演奏)	27
● ラジオを聞く	14～17	・ ランダム演奏	27
・ 放送局を選ぶ	14	・ イントロスキャン	27
・ 放送局を自動でメモリー(記憶)させる	14	・ CD演奏中の表示内容を変える	27
・ 放送局を選んでメモリー(記憶)させる	15	● 他の機器の音を聞く	28
・ 放送局を呼び出す(プリセット選局)	15	・ CDチェンジャー端子を使うとき	28
・ 道路交通情報を聞く	16	・ フロントAUX端子を使うとき	28
・ スキャン選局	16	● SELボタンの使いかた	29～34
・ FM放送が雑音で聞きにくいときは	16	・ 電源「切」のとき時計を表示させる	30
・ 放送受信中の表示内容を変える	17	・ レベルメーターの表示切換	30
・ アンテナリモートについて	17	・ 表示窓の明るさを変える	31
● MDを聞く	18～21	・ 放送局名を自動で表示させる	32
・ 長時間ステレオ再生について	18	・ 表示窓のコントラストを調節する	32
・ MDを挿入するときは	18	・ 文字表示のモードを変える	33
・ グループ機能について	19	・ CD/CHボタンのモードを変える	33
・ ダイレクト演奏	19	・ フロントAUXの入力感度を上げる	34
・ リピート演奏(くり返し演奏)	20	● MODEボタンの使いかた	35
・ ランダム演奏	20	● 文字の入力のしかた	36～37
・ イントロスキャン	20	・ 文字の入力と修正・削除	36
・ MD演奏中の表示内容を変える	21	・ 文字配列表	37
・ MDを取り出す	21	● 音量・音質の調節	38～39
・ MDの盗難防止	21	・ 重低音を調節する	39
● CDを聞く	22～25	● EQの使いかた	40～41
・ CD-R/CD-RWディスクについて	23	・ 調節したEQをメモリーしておく	41
・ CDテキストについて	23		

● DSPの使いかた ……………	ページ 42～43	● 故障かな?と思う前に……	ページ 50～51
・リスニングポジションの設定……………	43	・こんな表示のときは……………	51
● カスタマイズプレートの着せ替え ……	44	● 保証とアフターサービス……………	52
● お手入れ……………	45	● 主な仕様……………	53
● 放送局名一覧……………	46～49	● 用語索引……………	54
		● メモ……………	55

## 安全上のご注意 —はじめにお読みください—

### 絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

#### ● 絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



一般的指示

# 安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

## 警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

# ⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

# 使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり45W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス  $4\Omega \sim 8\Omega$  のものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CD/MDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。  
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCD/MDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL\*<sup>ビティール</sup>回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りに行ってください。

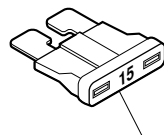
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの<sup>マイナス</sup>側が車の金属部に接続されていたり、<sup>プラス</sup>側同士が接続されていると故障の原因になります。

\*BTL : <sup>バランスト</sup>Balanced Transformerless<sup>トランスフォーマーレス</sup>の略  
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



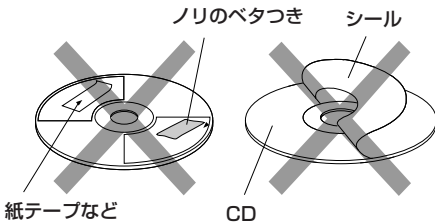
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

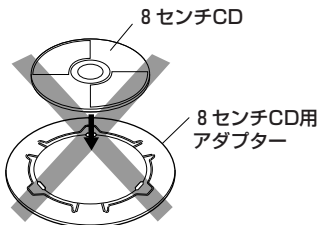
携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

## CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- CD/CD-R/CD-RWを保管するときは専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWの取扱いについて  
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- 記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。  
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります



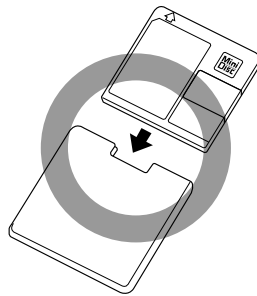
- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。  
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。  
8センチCDは、そのまま挿入してください。



- 長時間CDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

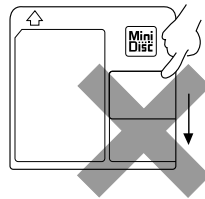
## MDの取扱いについて

- MDを保管するときは



MDを本機から取り出して専用ケースに入れ、直射日光の当たる所やダッシュボードの上などは避けて保管してください。  
MDが変形すると、故障の原因となります。

- MDのシャッターについて



MDのシャッターは、開けられないようになっています。無理に開けると、MDが破損する原因となります。

- MDにラベルを張ってお使いになる場合  
ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。
- 長時間MDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

- 定期的にお手入れを

MDがほこりやゴミで汚れたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

# 各部の名前

—□の数字のページに説明があります。—

ディスプレイ  
DISPボタン **12** **17** **21** **25** **27** **36**

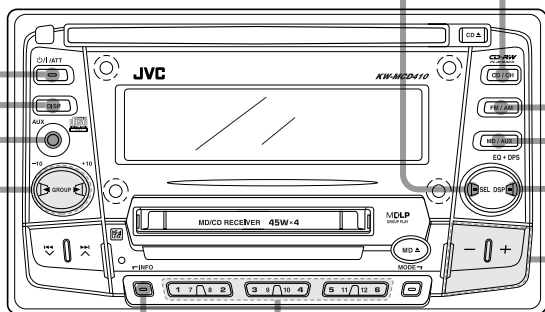
MD/AUXボタン\* **12** **28**

アッテネーター  
電源/ATTボタン **12**  
電源の「入」↔「切」ができます。

FM/AMボタン\* **12** **14**

チェンジャー  
CD/CHボタン\* **12** **26** **28**

セレクト  
SELボタン  
音量調節のモードが選べます。**38**  
2秒以上押しと、「PSM」が表示され  
時計合わせなどの各種設定モードに  
なります。**13** **29**



インフォメーション  
INFOボタン\* **16**  
道路交通情報を聞く  
とき使います。

## 数字ボタン

- ・「ラジオ」のとき：  
1～6が機能します。**15**
- ・「MD」「CD」「CDチェンジャー」のとき：  
1～12が機能します。**19** **23** **26**

「MD」のとき  
グループ  
ボタン **19**

＋、－(音量)ボタン  
音量調節や各種の設定が  
できます。**12** **29** **38**

エーユーエックス  
フロントAUX端子 **28**

DSPボタン **39** **40** **42**

\*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。



## ◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(∨、∧)

ソース(音源)によって働きが異なります。

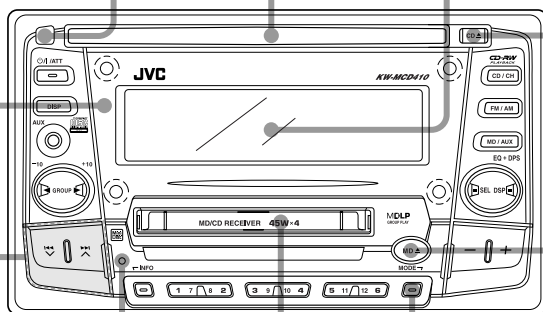
ソース (音源)	「MD」「CD」 「CDチェンジャー」	「ラジオ」
働 き	曲の頭出しや早送り、早戻し ができます。 <b>18 22 26</b>	放送局を選局するとき使いま す(オート選局/マニュアル選 局)。 <b>14</b>

## リモコン受光部

別売りのリモコン(RM-RK41J)  
の信号をここで受信します。**10**

## 表示窓(ディスプレイ)

## ファインダー

付属のカスタマイズ  
プレートに交換する  
とき外します。**44**CD挿入口**22**CD▲(取出し)  
ボタン**25**MD挿入口**18**MD▲(取出し)  
ボタン**21**

## リセットボタン

内蔵のマイコンをリセット  
するとき使います。

- ・初めて電源を入れたとき
- ・どのボタンを押しても動  
作しなくなったとき

モード  
MODEボタン**35**

ソース(音源)によって使いかたが異なります。

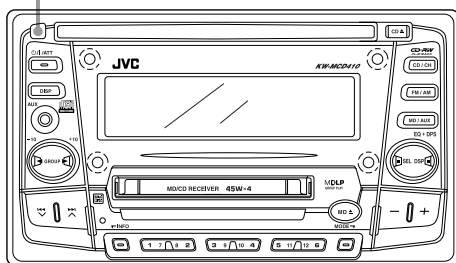
- ・「ラジオ」のとき：**14 16**
- ・「MD」「CD」「CDチェンジャー」のとき：  
**19 20 23 24 27**

# リモコン(RM-RK41J：別売り)の使いかた

## リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR2025：市販品)と交換してください。

## リモコン受光部

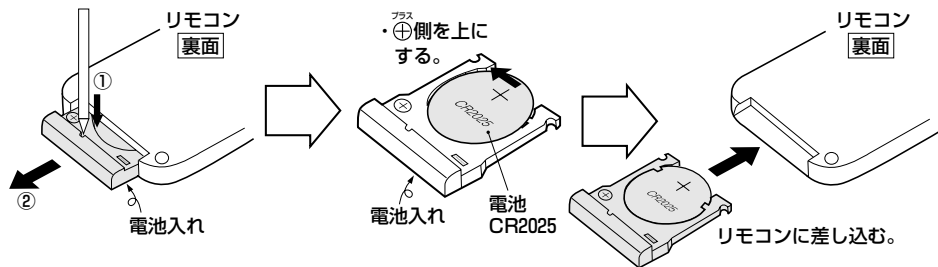


## ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

## 電池の入れかた

ボールペンなどで  
押して取り出す。



## ● 電池の交換時期(目安)は…

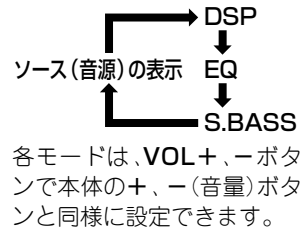
リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

各部の名前

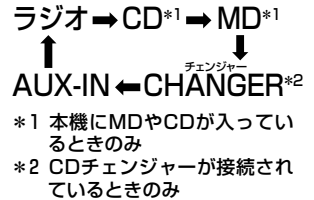
**電源/ATTボタン**  
アッテネーター  
 電源の「入↔切」ができます。電源を「切」にするときは、1秒以上押します。電源「入」のとき「ポン」と押すと、音量を一時的に下げることができます。

**SOUNDボタン**  
サウンド  
 押すごとにサウンドのモードが選べます。

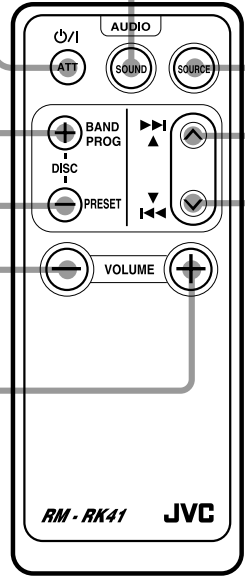


各モードは、VOL+、-ボタンで本体の+、-(音量)ボタンと同様に設定できます。

**SOURCEボタン**  
ソース  
 押すごとにソース(音源)が選べます。ただし電源を「入」にすることはできません。



\*1 本機にMDやCDが入っているときのみ  
 \*2 CDチェンジャーが接続されているときのみ



**VOL+、-ボタン**  
ボリューム  
 音量を調節することができます。

**▶▶、◀◀ボタン**

ラジオ	CD,MD,CDチェンジャー
オート選局 (SEEK)	曲の頭出し、早送り、早戻し

(▲と▼の機能はありません)

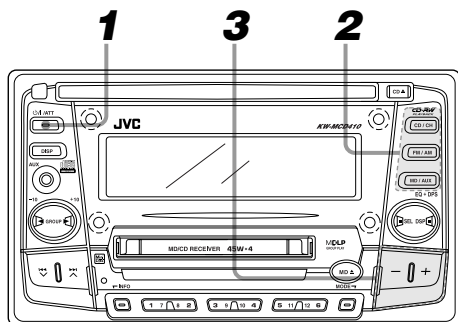
**BAND DISC+、PRESET DISC-ボタン**

	ラジオ	CDチェンジャー	MD グループディスク
<b>BAND DISC+ボタン</b>	FM/AMのバンド切換	CD 1～CD12の選択	次または前のグループにスキップ
<b>PRESET DISC-ボタン</b>	プリセット選局		

プログラム  
 (PROGの機能はありません)

# 基本操作

**準備** ●車のエンジンをかける。



## 1 電源/ATTボタンを押して電源を入れる



・「WELCOME! JVC」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はラジオ(FM1)…が表示されます。

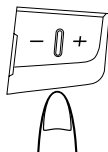
## 2 いずれかのボタンを押してソース(音源)を選ぶ

	ソース(音源)	参照ページ
CD / CH	CD*1	22
	↓ チェンジャー CHANGER*2	26
FM / AM	「ラジオ」 FM1 → FM2 → AM1 ← AM2 ←	14
MD / AUX	MD*1	18
	↓ AUX-IN	34

\* 1 本機にCDおよびMDが入っているときのみ  
\* 2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

●これらのボタンは、**ダイレクトソース切換機能**のほかに電源を「入」にすることもできます。

## 3 +、- (音量) ボタンで音量を調節する



・調節範囲  
VOLUME 00 ~ VOLUME 50  
(初期設定 VOLUME 15)

●音量を一時的に下げる

●**電源/ATT**ボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●電源を「切」にする



●**電源/ATT**ボタンを1秒以上押します。「SEE YOU」が表示され電源が切れます。

・1秒以上押す。

●車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作できます。

- CD▲(取出し)ボタン…CDの出し入れ
- MD▲(取出し)ボタン…MDの出し入れ
- DISPボタン…5秒間時計表示

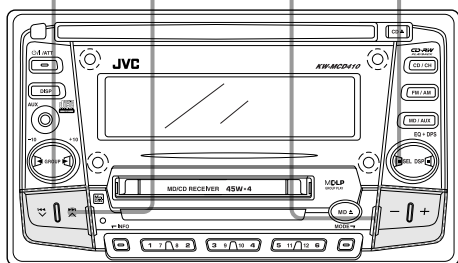
ただし、電源を入れることはできません。

## 〈お知らせ〉

- 「CHANGER」は、CD/CHボタンのモードを外部入力に切換えると「**LINE INPUT**」になります。→23ページ参照
- CD▲またはMD▲(取出し)ボタンは、電源「切」のときも操作できますがソース(音源)は切替わりません。
- 音量・音質の調節は28~29ページをご覧ください。

時計を合わせる

2 3.2 3.1・3.3 1・4



1 SELボタンを2秒以上押す



・ 2秒以上押す。

・ お買い上げ時は、「PSPM」表示のあと「時刻設定」が表示されます。→手順3へ進む  
 ・ これ以外のときは、「PSPM」表示のあと選ばれているモードが表示されます。

15秒以内に

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「時刻設定の【HOUR】」を選ぶ



逆に選べます。

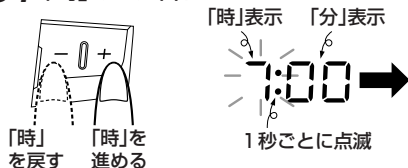
時刻設定  
【HOUR】 MIN

15秒以内に

3 +、-(音量)ボタンと▶▶▶ボタンで現在時刻に合わせる

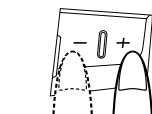
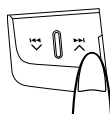
例：7時30分に合わせる  
 (12時間表示方式です)

3.1 「時」を7に合わせる



3.2

「時刻設定の【MIN】」 「分」を30に合わせるを選び…



「分」を戻す 「分」を進める

7:30

15秒以内に

4 SELボタンを押す

・ 元のソース(音源)の表示に戻ります。  
 SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- 時刻合わせのとき、+、-(音量)ボタンを押し続けると連続して変わります。
- 電源「切」のときも時計を表示させたいときは、20ページをご覧ください。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、29~34ページをご覧ください。

# ラジオを聞く

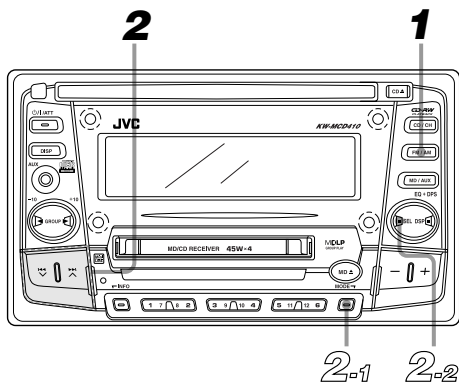
## 1 FM/AMボタンでソース(音源)を「ラジオ」にし、バンドを選ぶ



・押すごとに

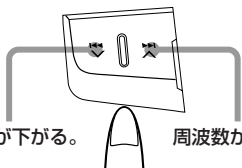
FM1 → FM2 → AM1  
 ← AM2 ←

と選べます。



## 放送局を選ぶ

## 2 選局ボタン(∧または∨)を押して選局する



周波数が下がる。

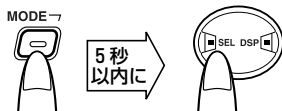
周波数が上がる。

- オート選局：「ポン」と押して離す。(シーク) 「SEEK」が表示され、本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- マニュアル選局：1秒以上押して「M」を点滅表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。  
 ・FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

## 放送局を自動でメモリー(記憶)させる

—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

## 2 MODEボタンで「SSM」を選び、SELボタンを押す



---SSM---

終わるまで点滅表示されます。

- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの「1 7」～「12 6」にメモリーしていきます。
- メモリーし終わると数字ボタン「1 7」に記憶された放送局が表示されます。
- バンドごとに6局ずつメモリーされます。

## 〈お知らせ〉

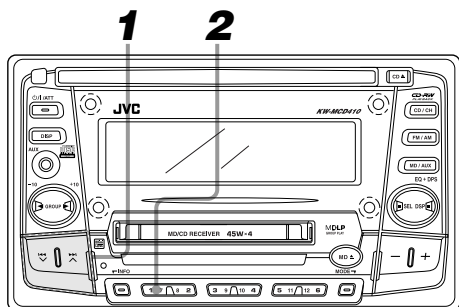
- ソース(音源)を「ラジオ」にするとFM放送はFM1またはFM2、AM放送はAM1またはAM2が表示されます。
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

## 〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドにメモリーしてあった放送局は消えます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。→16ページ参照

## 放送局を選んでメモリー（記憶）させる

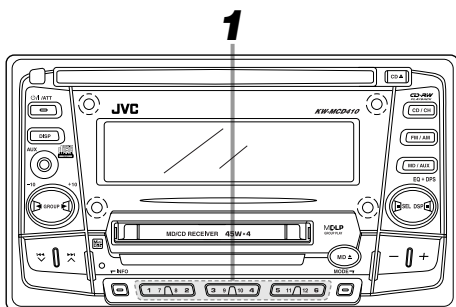
SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



例：FM放送の81.3MHzを「1 7」ボタンにメモリーする

## 放送局を呼び出す（プリセット選局）

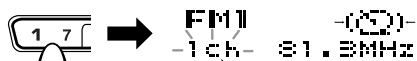
数字ボタン（1～6）にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。



# 1 選局ボタン（ $\wedge$ または $\vee$ ）でFM81.3MHzを選局する

→14ページの「放送局を選ぶ（オート選局またはマニュアル選局）」参照

# 2 数字ボタンの「1 7」を2秒以上押す



・2秒以上押す。

押した数字ボタンと同じ数字が点滅表示されると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

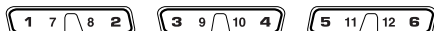
- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。

## 〈お知らせ〉

- この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

# 1 数字ボタン（1～6）を押して選局する

（プリセット選局といいます）



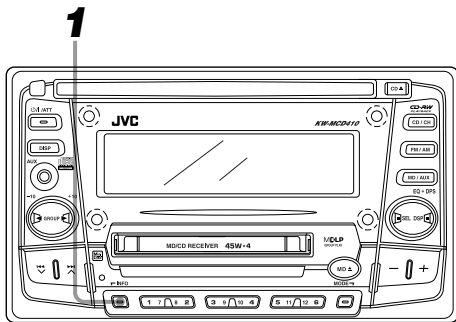
- 数字ボタン（1～6）にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。（数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください）

## ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー（記憶）した放送局は取り消されます。また時計表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や時計を設定し直してください。

# ラジオを聞く(つづき)

## 道路交通情報を聞く



### 1 INFOボタンを押す



## INFO 1620kHz

高速道路などの特定地域では、AM1620kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1620kHzが受信できます。

- INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しております。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。
- AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域のときは、あらかじめINFOボタンにメモリーし直しておくくと便利です。

## スキャン選局

MODEボタンを2回押すと、「SCAN」が表示されSELボタンを押すと、自動的に周波数が高い方に移動し、放送局を探します。



放送を受信するごとにその周波数が点滅表示され、約5秒間聞くことができます。聞きたい放送局のときはもう一度、MODEボタンを押します。スキャン選局が終了し、その放送を継続して聞くことができます。

## FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送の受信モードを「MONO ON」に切換えます。



- ・ MODEボタンを3回押して「MONO」を表示させSELボタンを押す。

表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切換えます。FMステレオ放送を受信すると表示窓に「ST」が表示されます。

## 〈お知らせ〉

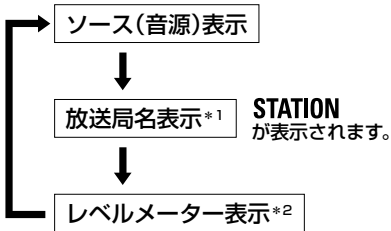
- MODEボタンの使いかたについては、[35](#)ページをご覧ください。



## 放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。

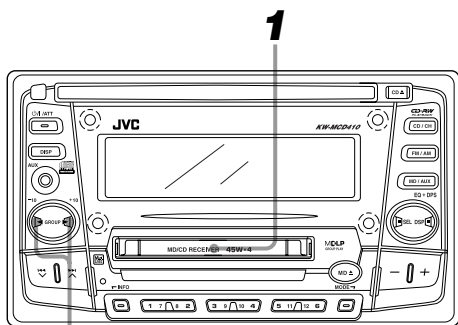


- \* 1 「放送局名を自動で表示させる」の操作(⇒②④ページ参照)をすると表示されます。ステーションエリアを設定する前は「NO NAME」が表示されません。なお、放送局名はスクロール表示されません。
- \* 2 「レベルメーターの表示切換」でレベル[3]または[4]を選んでいるときのみ表示されます(⇒③④ページ参照)。

## アンテナリモートについて

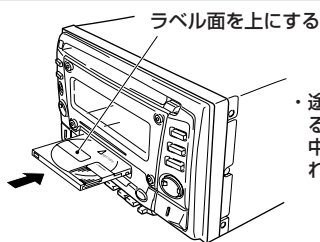
- 電動アンテナ装備車およびアンテナブラスター装備車の場合は、本機の「アンテナコントロール電源」コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を「ラジオ」にすると自動的にアンテナ(ブラスター)側に電源が供給されます。「CDチェンジャー」や「CD」、「MD」などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れません。  
(「アンテナコントロール電源」コードの最大コントロール電流は250mAです)

# MDを聞く



GROUPボタン

## 1 MDを入れる→ソース(音源)が「MD」になり演奏がスタート



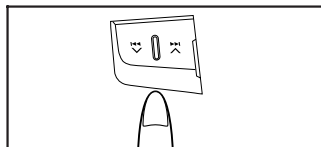
・途中まで入れると、自動で中に引き込まれます。

MD  
01 00'05"  
曲番号 演奏経過時間

- ・MDが入っていることを表す が表示されます。
- ・MD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。
- ・「--- PLAY」表示中は、MDのデータを読み込んでいます。終わると演奏がスタートします。
- ・グループ分けされているMDを入れるとGROUPが表示されます。

## 〈お知らせ〉

- ・モノラル2倍長録音したMDは、自動的にモノラルで再生されます。
- ・データ用MDについて  
データ用MDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。



曲の頭出し (スキップ)	<p>▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。</p> <p>◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。</p>
早送り・早戻し (サーチ)	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。</p> <p>◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。</p> <p>演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

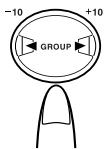
## 長時間ステレオ再生について

本機はMDLPに対応しています。音声データを高精度圧縮技術ATRAC 3で録音済みのMDの場合、LP 4モードは最長320分、LP 2モードは最長160分の長時間ステレオ再生が可能です(MD80使用時)。LP 2またはLP 4で録音したMDを演奏すると、表示窓にLP2またはLP4が表示されます。MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは、SP(標準)モードで再生できます(SPの表示はありません)。

## MDを挿入するときは

- ・故障を防止するため次のことを確認してください。
  - ・ラベル面を上にする。
  - ・挿入方向を表す や の表示に従って本体に入れる。
  - ・無理に押し込まない。(途中まで入れると自動で引き込まれます)
  - ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。

## グループ機能について

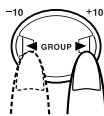


ミニコンパなどでステレオ長時間録音(MDLP)するとき、収録曲をCDごとやアーティストごとなど、いくつかのグループに分けておくと、選曲がしやすくなります。

グループ 1	グループ 2	グループ 3
曲番号	曲番号	曲番号
1 2 3	4 5 6	7 8

### ● 聞きたいグループを選ぶ

#### グループスキップ



今のグループの頭へ戻る。押すごとに前のグループの頭に戻る。

次のグループの頭へ移る。

- 選んだグループの先頭の曲から聞くことができます。

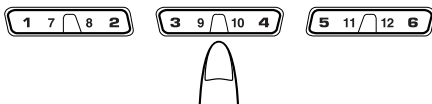
#### ダイレクトグループアクセス機能

MODEボタンを2回押して「GROUP」を表示させ、数字ボタンを押すとダイレクトにグループが選べます。



- 2回押して「GROUP」を表示させる。

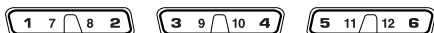
5秒以内に



- グループ1～6  
数字ボタンを「ポン」と押します。
- グループ7～12  
数字ボタンを1秒以上押します。
- くり返して押すときは、2秒以上間隔を空けなくて押してください。

## ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。



- 1～6曲目  
数字ボタンを「ポン」と押します。
- 7～12曲目  
数字ボタンを1秒以上押します。

例：3曲目のとき

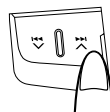
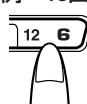


例：12曲目のとき



- 13曲目以上  
▶▶ボタンを併用します。

例：15曲目



(3回押す)

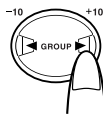
- 1秒以上押す。

またMODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りMDのとき



5秒以内に



01 → 10 → 20 → 30 → 32

- MODEボタンを押すと+10と-10が点滅表示されます。
- MODEボタンを押したあと+10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと、逆に選べます。

### 〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- +10ボタン(または-10ボタン)をくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けなくて押してください。

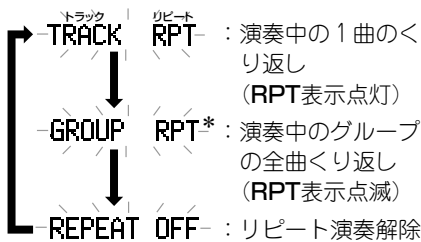
# MDを聞く(つづき)

## リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



- MODEボタンを3回(グループ分けされていないMDは2回)押して「REPEAT」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



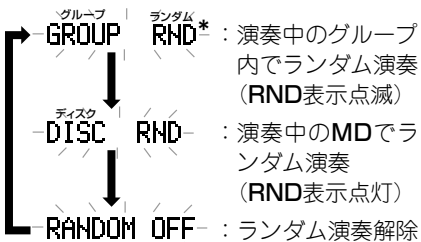
\*グループ分けされているMD(曲)に限り表示されます。

## ランダム演奏

MDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- MODEボタンを4回(グループ分けされていないMDは3回)押して「RANDOM」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



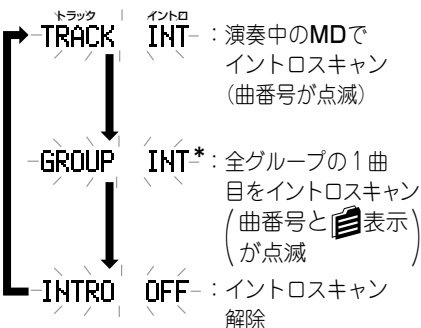
\*グループ分けされているMD(曲)に限り表示されます。

## イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



- MODEボタンを5回(グループ分けされていないMDは4回)押して「INTRO」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

\*グループ分けされているMD(曲)に限り表示されます。

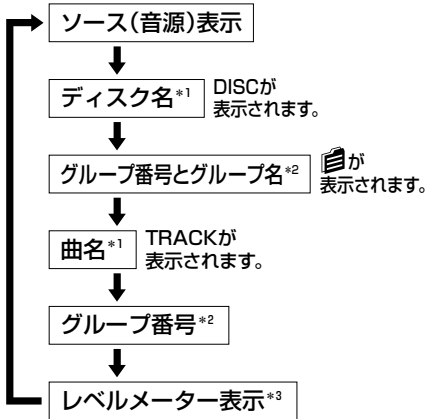
## 〈お知らせ〉

- MODEボタンの使いかたについては、[35](#)ページをご覧ください。

## MD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



- \* 1 記録されていないMDでは「NO NAME」表示になります。
- \* 2 グループ分けされていないMDでは表示されません。
- \* 3 「レベルメーターの表示切換」でレベル[3]または[4]を選んでいるときのみ表示されます(⇒24ページ参照)。

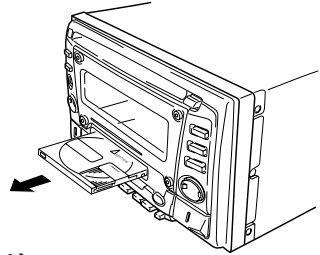
### 〈お知らせ〉

- ディスク名やグループ名、曲名は英数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号がスクロール表示されます。  
DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。またグループ名がスクロール表示される時、グループ番号(G01など)も表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：**ONCE**(お買い上げ時の状態)になっています。**AUTO**(自動)または**OFF**(切)に変えることもできます。⇒23ページ参照
- 文字表示については、漢字、英数字・カタカナ、ひらがなが表示されます。ただし、英数字、カタカナ、一部の記号は半角で表示されます。(シフトJIS第三水準以上の文字は表示されません)

## MDを取り出す



MD▲(取出し)ボタンを押します。「MD EJECT」が表示され、MDが出てきます。MDを入れる前のソース(音源)に戻ります。

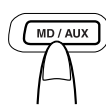


### 〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもMDは取り出せます。この場合、MDが出てきたあと自動的に電源が切れます。

## MDの盗難防止

MDを他の人が取り出せないようにすることができます。



を同時に2秒以上押す。



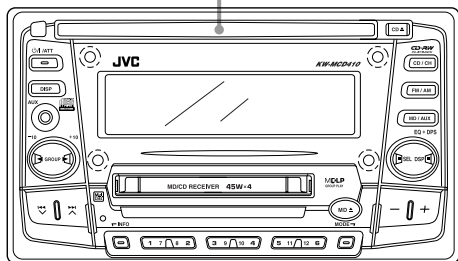
- 「MD ▲」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「EJECT OK」が点滅表示され、MDの取り出しができるようになります。

### 〈お知らせ〉

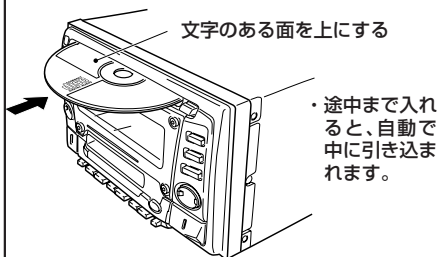
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

# CDを聞く


1



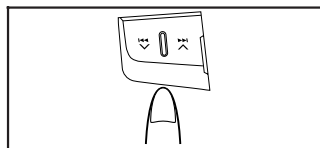
## 1 CDを入れる⇒ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート



CD  
01 00'05"  
曲番号 演奏経過時間

- ・「**FLAY**」表示中は、CDのデータを読み込んでいます。終わると総曲数と総演奏時間表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ・CDが入っていることを表すが表示されます。

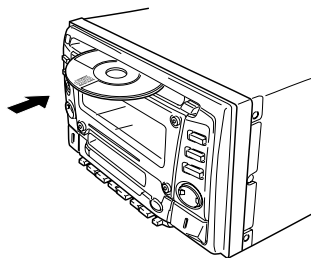
- **CD演奏中に電源を切ったときは**電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。






<b>曲の頭出し (スキップ)</b>	<p>▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。</p> <p>◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。</p>
<b>早送り・早戻し (サーチ)</b>	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。</p> <p>◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。</p> <p>演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

## ● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。



## ＜お知らせ＞

- 文字のある面に  または 、 のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、**CD規格(CD-DA)**に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。**CD**を演奏するときは、「**CDロゴマーク**」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、**CD規格**に準拠するディスクであることをお確かめください。

## CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- MP3には対応していません。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

## 〈お知らせ〉

- 英数字、カタカナおよび一部の記号などは、半角で表示されます。  
(シフトJIS第一、第二水準の文字が表示されます)

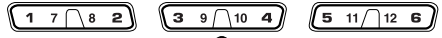
## CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏すると漢字、英数字、カタカナ、ひらがなで「CDテキスト」データを表示します。DISPボタンを押すと表示が変わります。

## ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。



- 1～6曲目  
数字ボタンを「ポン」と押します。
- 7～12曲目  
数字ボタンを1秒以上押します。

例：3曲目のとき



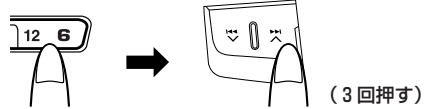
例：12曲目のとき



・1秒以上押す。

- 13曲目以上は  
▶▶ボタンを併用します。

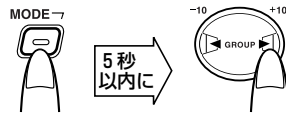
例：15曲目



- 1秒以上押す。

またMODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りCDのとき



01 → 10 → 20 → 30 → 32



- MODEボタンを押すと+10と-10が点滅表示されます。
- MODEボタンを押したあと+10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと、逆に選べます。

## 〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- +10ボタン(または-10ボタン)をくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

# CDを聞く(つづき)

## リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



- ・MODEボタンを2回押して「REPEAT」を表示させ、SELボタンを押す。

—TRACK RPT—

- 表示窓に「RPT」が表示され、1曲リピート演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。「REPEAT OFF」が表示されます。

## イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



- ・MODEボタンを4回押して「INTRO」を表示させ、SELボタンを押す。

—TRACK INT—

- イントロスキャン中の曲の曲番号が点滅します。
- 途中でイントロスキャンを解除するときは、もう一度同じ操作をします。「INTRO OFF」が表示されます。
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

## ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- ・MODEボタンを3回押して「RANDOM」を表示させ、SELボタンを押す。

—DISC RND—

- 表示窓に「RND」が表示され、ランダム演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。「RANDOM OFF」が表示されます。

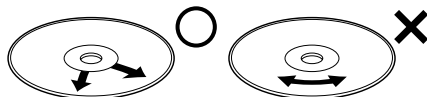
## 〈お知らせ〉

- MODEボタンの使いかたについては、35ページをご覧ください。

## CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にかけてください。



必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因になります。

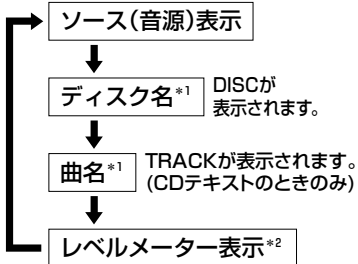
- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。



## CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



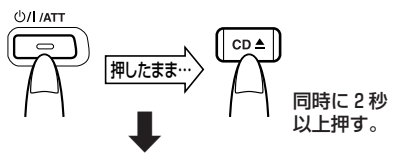
- \* 1 記録されていないCDでは「NO NAME」表示になります。
- \* 2 「レベルメーターの表示切換」でレベル[3]または[4]を選んでいるときのみ表示されます(⇒⑩ページ参照)。

### 〈お知らせ〉

- ディスク名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：ONCE(お買い上げ時の状態)になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。  
⇒⑩ページ参照
- CDテキストの文字表示については、漢字、英数字、カタカナ、ひらがなが表示されます。ただし、英数字、カタカナ、一部の記号は半角で表示されます。

### ご注意

- CDの取り出しができないときは  
万一、CDの取り出しができないときは

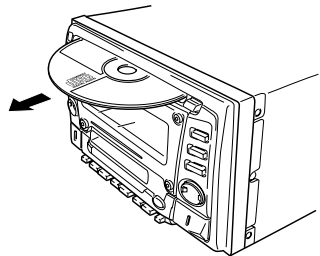


- CDが出てきますので落とさないよう、ご注意ください。

## CDを取り出す



CD▲(取出し)ボタンを押すと、「CD EJECT」が表示されCDが出てきます。CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



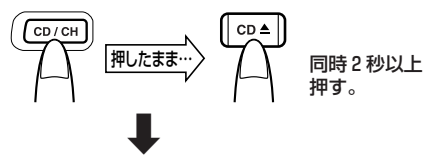
(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます)

### 〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDを取り出すと自動的に電源が切れます。

## CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができます。



- 「CD 」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができるようになります。

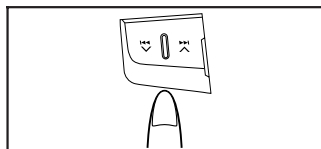
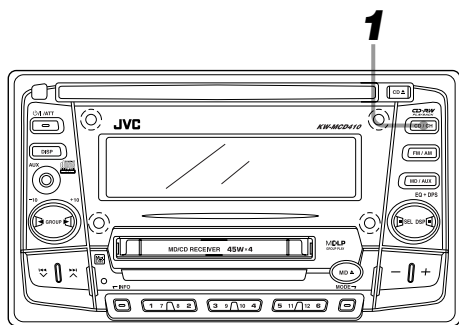
### 〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

# CDチェンジャーのCDを聞く

- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

## 全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



曲の頭出し (スキップ)	<p>▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。</p> <p>◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。</p>
早送り・早戻し (サーチ)	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。</p> <p>◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。</p> <p>演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

## 1 CD/CHボタンを押してソース(音源)を「CHANGER」にする⇒演奏スタート



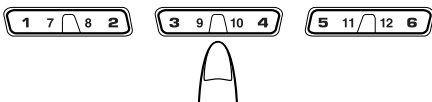
- CDチェンジャー演奏中に電源を「切」にしたときは、止まったときのCDからの演奏がスタートします。
- 最初のCDの演奏が終わると、自動で次のCDの演奏になります。マガジン内の全CDのくり返し演奏になります。

## ● 演奏を途中でやめる

FM/AMボタンやMD/AUXボタンなどを押して他のソース(音源)に切換えます。または電源を「切」にします。

## 数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



- 1～6 枚目  
数字ボタンを「ポン」と押します。  
例：3 枚目のとき
- 7～12枚目  
数字ボタンを1秒以上押します。  
例：12枚目のとき



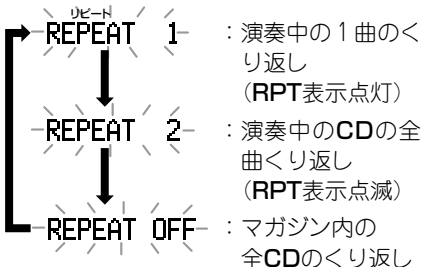
- 1秒以上押す。

## リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



- MODEボタンを1回押して「REPEAT」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。

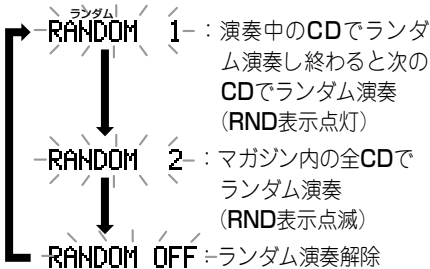


## ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- MODEボタンを2回押して「RANDOM」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



## 〈お知らせ〉

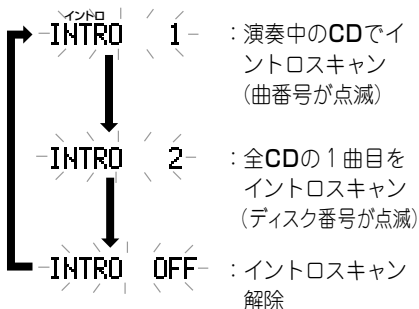
- MODEボタンの使いかたについては、[36](#)ページをご覧ください。

## イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀▶ボタンを押します。



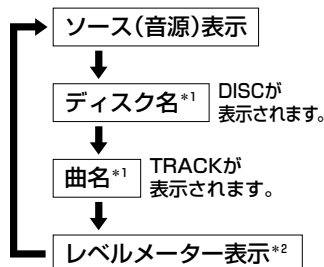
- MODEボタンを3回押して「INTRO」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



## CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



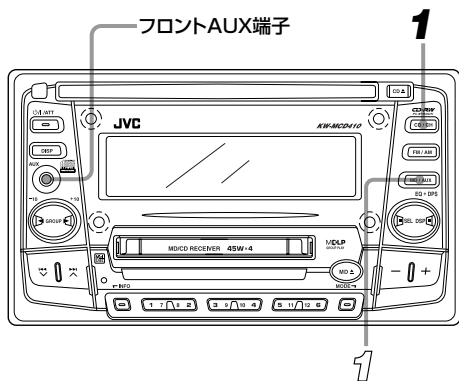
\* 1 ディスク名または曲名が記録されていないと、「NO NAME」が表示されそのあと「CD番号および曲番号と演奏経過時間」の表示に変わります。

\* 2 「レベルメーターの表示切換」でレベル[3]または[4]を選んでいるときのみ表示されます(⇒[20](#)ページ参照)。

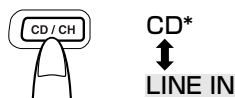
# 他の機器の音を聞く

## CDチェンジャー端子を使うとき

- 準備**
- 変換コード：KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子にカーAV機器を接続しておきます。→別紙の取付説明書参照
  - CD/CHボタンのモードを「LINE」に切換えておきます。  
→33ページ参照



**1** CD/CHボタンを押してソース(音源)を「LINE-IN(ライン入力)」にする



- \* 本機にCDが入っているときのみ
- ・表示窓が「LINE INPUT」表示に変わります。

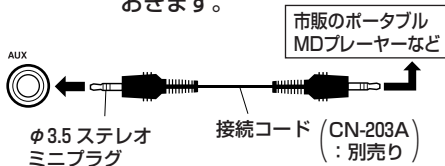


## 〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- すでにCDチェンジャーを接続しているときは、LINE INPUTがご利用になれません。

## フロントAUX端子を使うとき

- 準備**
- フロントAUX端子にポータブルMDプレーヤーなどを接続しておきます。



**1** MD/AUXボタンを押してソース(音源)を「AUX」にする



- \* 本機にMDが入っているときのみ
- ・表示窓が「AUX INPUT」表示に変わります。

**2** 接続した機器を演奏状態にする

- ・接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。
- ・フロントAUXの音が小さいときは、SELボタンを使って「AUX アジャスト」を選び入力感度を調節します。→34ページ参照



# SELボタンの使いかた(つづき)

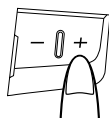
## 電源「切」のとき時計を表示させる

本機を電源「切」にしたとき、表示窓に時計を表示させることができます。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ►►I(またはI◄◄)ボタンを数回押して「パワーオフ時計」を選ぶ

**3** +、- (音量) ボタンの一側を押して「パワーオフ時計 [ON]」にする



- ・ [ON] にすると表示窓やボタンの照明も「オン」のままになります。
- ・ 一側を押すと逆を選びます。

パワーオフ時計 [OFF] : 表示なし(お買い上げ時の状態)

↓  
パワーオフ時計 [ON] : 電源「切」のとき時計表示

**4** SELボタンを押す

- ・ 元のソース (音源) の表示に戻ります。

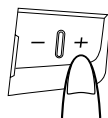
## レベルメーターの表示切換

表示窓のレベルメーターの表示位置を切換えることができます。

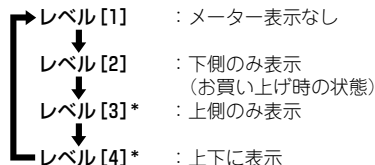
**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ►►I(またはI◄◄)ボタンを数回押して「レベル」を選ぶ

**3** +、- (音量) ボタンを押してレベルメーターのモードを選ぶ



- ・ 一側を押すと逆を選びます。



**4** SELボタンを押す

- ・ 元のソース (音源) の表示に戻ります。

## 〈お知らせ〉

- 車のエンジンキーが「オフ」でも、本機の電源が「切」にならない車種のときは、「**パワーオフ時計 [ON]**」に設定しないでください。バッテリーを消耗する原因となります。
- 「**パワーオフ時計 [ON]**」に設定するときは、本機の「**リモート出力**」コードを車両のオートアンテナには接続しないでください。

\*レベル[3]または[4]を選んで表示窓にレベルメーターが表示されないときは、**DISP**ボタンを数回押してレベルメーターを表示窓に表示させます。

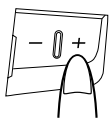
## 表示窓の明るさを変える

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

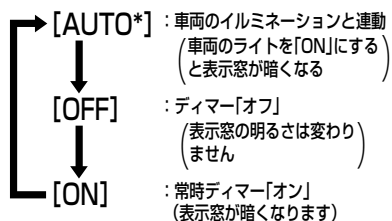
**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「DIMMER切替」を選ぶ

**3** +、- (音量) ボタンを押してディマーのモードを選ぶ



・一側を押すと逆に選べます。



\*ディマー[AUTO]で使うときは、本機の  
 [イルミネーション]コードを車両のイルミ電源に  
 接続しておきます。

**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

### 〈お知らせ〉

- SELボタンを使った各種の設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。

# SELボタンの使いかた(つづき)

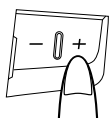
## 放送局名を自動で表示させる

ご利用になる地域の放送局を受信したとき、自動で放送局名を表示させることができます。

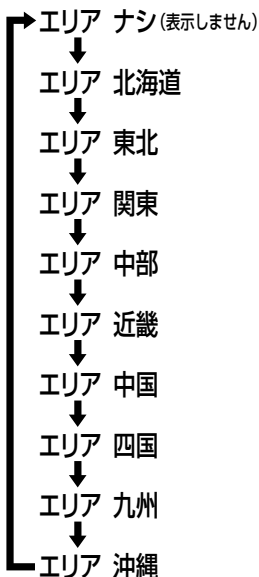
**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「ステーションエリア」を選ぶ

**3** +、- (音量) ボタンを押してご利用の地域を選ぶ



・一側を押すと、逆を選びます。



**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

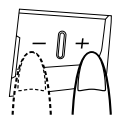
## 表示窓のコントラストを調節する

表示窓の表示が見にくいときは、コントラストを調節します。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「コントラスト調節」を選ぶ

**3** +、- (音量) ボタンを押してコントラストを調節する



下げる  
とき      上げる  
とき

・「01～05～10」の範囲で調節できます。運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

## 〈お知らせ〉

- ・地域ごとの「放送局名一覧」は46～49ページをご覧ください。



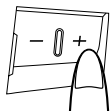
## 文字表示のモードを変える

表示窓の文字表示がスクロール表示されるとき、モードを変えることができます。

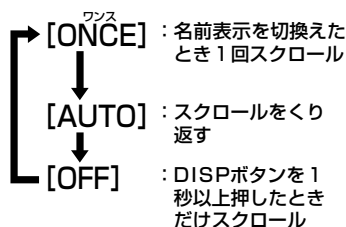
**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「文字スクロール」を選ぶ

**3** +、- (音量) ボタンを押してスクロールのモードを選ぶ



・一側を押すと逆  
に選べます。



**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

## 〈お知らせ〉

- 放送局名は、スクロール表示されません。

## CD/CHボタンのモードを変える

CDチェンジャー端子に他の機器を接続したときは、「LINE」に切換えます。

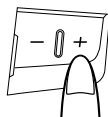
**1** ソース(音源)を「ラジオ」にする

・ソース(音源)が「CHANGER」のままでは、この操作はできません。

**2** SELボタンを2秒以上押す

**3** ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「EXT IN切替」を選ぶ

**4** +、- (音量) ボタンの+側を押して[LIN]にする



・「CD CH」に戻すときは、一側を押します。

チェンジャー  
[CD CH] : CDチェンジャーをつないだとき

↓

[LINE] : 他の機器をつないだとき

**5** SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

# SELボタンの使いかた(つづき)

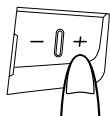
## フロントAUXの入力感度を上げる

フロントAUX端子の入力感度を調節することができます。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** **▶▶**(または**◀◀**)ボタンを数回押して「AUX アジャスト」を選ぶ

**3** +、-(音量)ボタンの+側を押して入力感度を調節する



- ・00～05の範囲で調節できます。
- ・入力感度を下げるときは-側を押します。

**4** SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。

# MODEボタンの使いかた



3(+10,-10ボタン) 3(数字ボタン) 2

## 1 各ボタンを押してソース(音源)を選ぶ

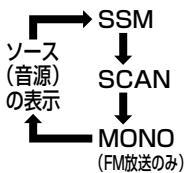
・「ラジオ」、「MD」または「CD/CDチェンジャー」のいずれかを選びます。またはMDがCDを本機に入れます。  
(「AUX」または「LINE」のときは、MODEボタンが働きません)

## 2 MODEボタンを押して使いたいモードを選ぶ

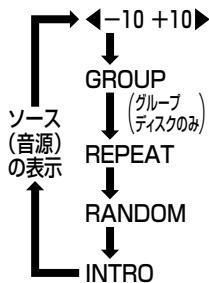


・押すごとにモードが変わります。各操作は5秒以上間隔を空けないでください。

### ラジオ(FM/AM)



### MD

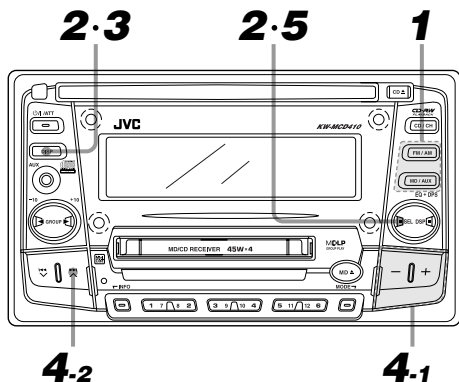


CD	CDチェンジャー
<pre>             graph TD                 G1["←-10 +10→"] --&gt; REPEAT                 REPEAT --&gt; RANDOM                 RANDOM --&gt; INTRO                 INTRO --&gt; G1             </pre>	<pre>             graph TD                 REPEAT --&gt; RANDOM                 RANDOM --&gt; INTRO                 INTRO --&gt; REPEAT             </pre>
↓ 5秒以内に	
<h2>3 設定する</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSM → 14ページ参照</li> <li>・SCAN } → 16ページ参照</li> <li>・MONO }</li> <li>・REPEAT</li> <li>・RANDOM } → 20 24 27</li> <li>・INTRO } ページ参照</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・←-10 +10→ → 19 23</li> <li>ページ参照</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・GROUP → 19ページ参照</li> </ul>	

# 文字の入力のしかた

## 文字の入力と修正・削除

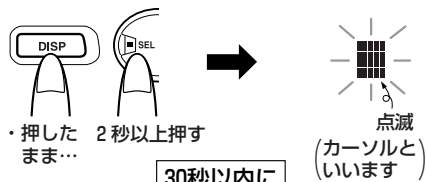
放送局名を32局分／最大12文字、AUXは12文字まで入力できます。



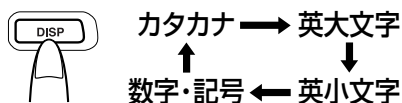
**1** FM/AMまたはMD/AUXボタンを押してソース(音源)を「ラジオ」または「AUX」にする

**2** DISPボタンを押したままSELボタンを同時に2秒以上押す

例: ラジオを選んだとき



**3** DISPボタンで文字の種類を選ぶ

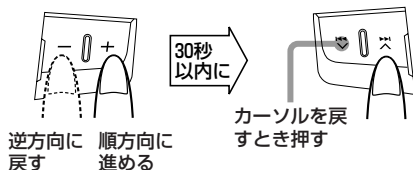


- ・カーソルと文字の種類の手前文字が交互に点滅表示されます。
- 文字の種類については⑦ページの「文字配列表」をご覧ください。

30秒以内に

**4** +、- (音量) ボタンと▶▶▶ ボタンで局名を入力する

(4-1と4-2をくり返す)



**4-1** 文字を選び… **4-2** カーソルを右に移す

- ・文字を間違えたときは、◀◀◀ ボタンでカーソルを戻し、+、- (音量) ボタンで正しい文字を上書きします。
- ・スペース(空白)を選んで▶▶▶ ボタンを押すと、文字を消すこともできます。
- ・「AUX INPUT」表示を別の名前に変更するときは、上書きで修正します。

30秒以内に

**5** SELボタンを押して文字を確定する



- ・全てスペース(空白)を入力し、確定すると局名を消すことができます。
- ・局名を入力したあとDISPボタンを1秒以上押したときも、全て消すことができます。
- このあとSELボタンを押して確定します。

## 〈お知らせ〉

- ・文字を確定するときは、必ずSELボタンを押してください。押さないと確定されません。
- ・33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。

## 文字配列表

## ●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ヱ	ォ	ャ	ュ	ョ	ツ	
ー	。	ゝ	(空白)						

## ●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

## ●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

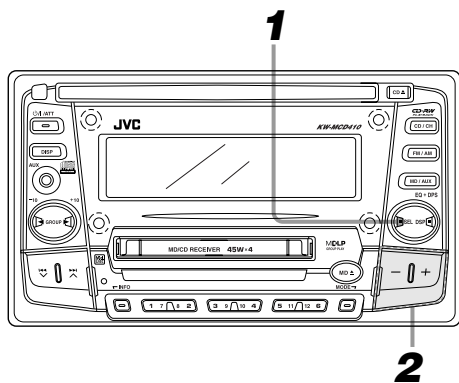
## ●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%		’	(	)	*
+	,	—	.	/	:	;	<	=	>
?	@	—	`	(空白)					

## 〈お知らせ〉

- 本機は、この文字配列表以外の文字・記号は入力できません。

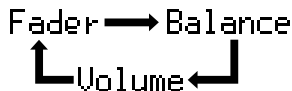
# 音量・音質の調節



## 1 SELボタンを押して調節したい項目を選ぶ



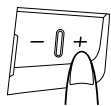
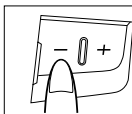
・「ボン・ボン」と押しごとに以下のように変わります。



・音量調節(VOLUME)のみのときは、+、- (音量)ボタン直接押して調節します。

5秒以内に

## 2 +、- (音量)ボタンを押して音量を調節する



<b>FADER</b> (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
<b>BALANCE</b> (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
<b>VOLUME</b> (音量)	音量が下がる	音量が上がる

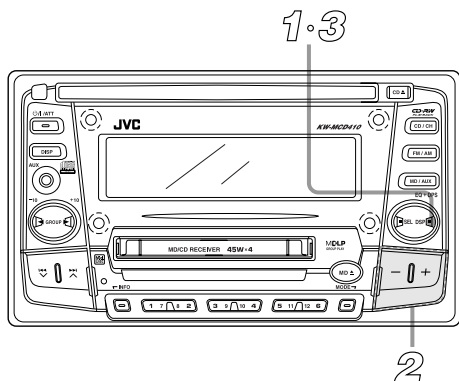
・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

## ● 音量の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	設定範囲
FADER(フェーダー)	00(センター)	リア <small>リア</small> R06~ <small>フロント</small> F06
BALANCE(バランス)	00(センター)	左 <small>左</small> L06~ <small>右</small> R06
VOLUME(音量)	15	00~50

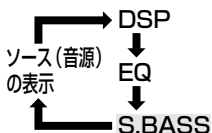
## 〈お知らせ〉

- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- 調節したレベルが表示窓に表示されます。



## 重低音を調節する

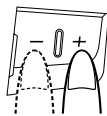
### 1 DSPボタンを3回押して「S.BASS」を選ぶ



・お買い上げのときは、  
S.BASS 00が表示されます。

5秒以内に

### 2 +、- (音量) ボタンを押して重低音を調節する



・S.BASS 00～  
S.BASS 09の範囲で  
調節できます。

減衰する 増強する  
とき とき

5秒以内に

### 3 DSPボタンを押す

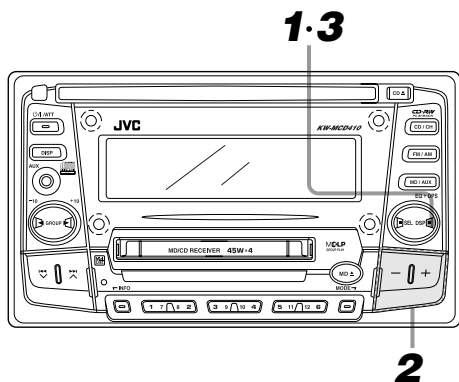
・元のソース(音源)の表示に戻ります。DSPボタンを押さないときは、5秒後に自動で戻ります。

## 〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したレベルはS.BASS 00に戻ります。

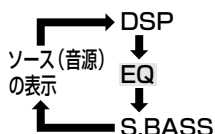
# EQ\*の使いかた

・本機には、あらかじめ11のEQパターンがメモリーされています。



## ●EQパターンの呼び出し

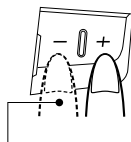
### 1 DSPボタンを2回押して「EQ」を選ぶ



・「EQ」が表示され、設定されているEQのモード(お買い上げ時は「FLAT」)に変わります。

5秒以内に

### 2 +、- (音量) ボタンでEQのモードを選ぶ



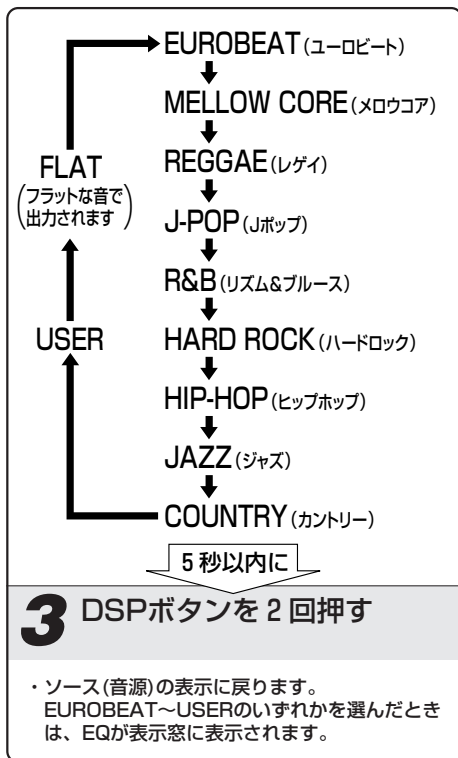
逆を選べます。

\*EQのパターンが表示窓に表示されます。

・右上のリストは+側のボタンを押したときのEQのモードです。

\*EQは：

Equalizer(イコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称。



### 3 DSPボタンを2回押す

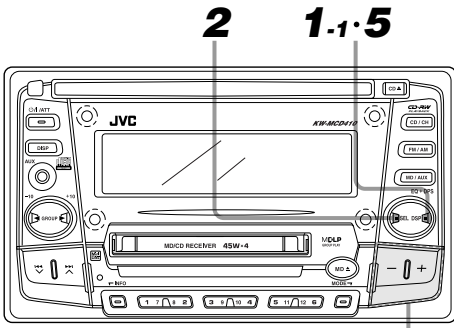
・ソース(音源)の表示に戻ります。  
EUROBEAT～USERのいずれかを選んだときは、EQが表示窓に表示されます。

## 〈お知らせ〉

- USERには、ご自分で調節したEQパターンがメモリーできます。  
➡40ページ参照  
お買い上げ時はFLATと同じEQパターンになっています。
- EUROBEAT～COUNTRYには、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したEQパターンはFLATと同じEQパターンに戻ります。



調節したEQをメモリーしておく



1.2・3

**1** DSPを2回押したあと、+、- (音量)ボタンを押してEQのモードを選ぶ

→ ④ ページ手順1~2参照

5秒以内に

**2** SELボタンで調節したい項目を選ぶ



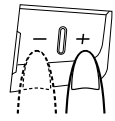
・押すごとに、各帯域の周波数またはレベルが選べます。



15秒以内に

**3** +、- (音量)ボタンで調節する

LOW (低域)	FREQ	50Hz↔80Hz↔120Hz
	LEVEL	-12~-2, 0, +2~+12dB
MID (中域)	FREQ	700Hz↔1kHz↔2kHz
	LEVEL	-12~-2, 0, +2~+12dB
HIGH (高域)	FREQ	8kHz↔12kHz
	LEVEL	-12~-2, 0, +2~+12dB



下げる 上げる  
とき とき

・中心周波数は帯域ごとに選べます。調節した内容が表示窓に表示されます。  
・LEVELは2dBずつ調節できます。

15秒以内に

**4** 手順2と3をくり返し、各帯域の周波数およびレベルを調節する

15秒以内に

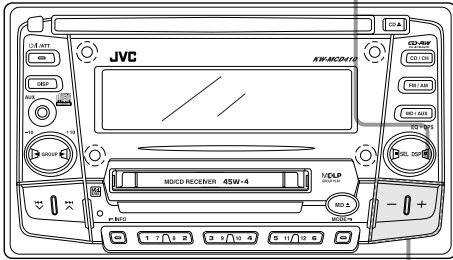
**5** DSPボタンを押す

・USERにメモリーしておくことができます。  
・調節したEQのパターンがメモリーされます。手順4の操作のあと15秒以上何もしないときは自動でメモリーされます。

# DSPの使いかた

- ・本機には、あらかじめ6つの音場がメモリーされています。  
ソース(音源)の再生音に合わせて音場を選べば、演奏会場や劇場の雰囲気再現されます。

## 1・3



## 2

### ●音場の呼び出し

#### 1 DSPボタンを押して「DSP」を選ぶ



- ・DSPが表示され、設定されているDSP(お買い上げ時は「DEFEAT」)が表示されます。

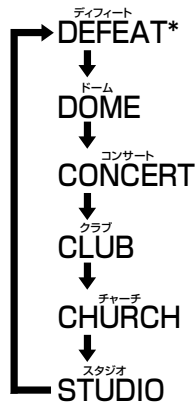
5秒以内に

#### 2 +、- (音量)ボタンを押して音場を選ぶ



- ・DOME~STUDIOを選ぶと、表示窓の右下に音場名が表示されます。

\* DEFEATを選ぶと音場効果のないフラットな音で出力されます。



5秒以内に

#### 3 DSPボタンを3回押す



ソース(音源)の表示に戻ります。

- ・DSPボタンを押さないときは、5秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

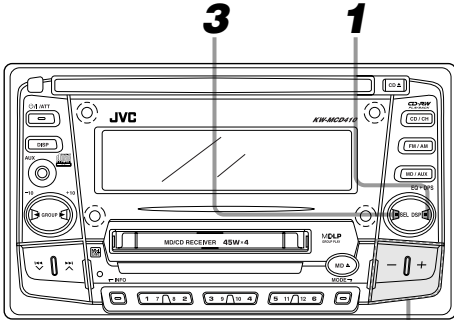
### 〈お知らせ〉

- 各音場はこんな音楽の再生に使います。

- ・ DOME : ドーム球場などのライブ盤
- ・ CONCERT : コンサートのライブ盤など
- ・ CLUB : ヘビーメタルやロックバンドの演奏など
- ・ CHURCH : バロック音楽など
- ・ STUDIO : 録音スタジオでのライブ盤など

## リスニングポジションの設定

聞く位置に合わせてリスニングポジションを選ぶことにより、DSPの効果改善されます。



**1 DSPボタンを押す**

ソース(音源)の表示  
 DSP  
 ↓  
 EQ  
 ↓  
 S.BASS

・DSPが表示され、設定されているDSP(お買い上げ時は「DEFEAT」)が表示されます。

5秒以内に

**2 +, - (音量) ボタンを押して音場(DOME~STUDIO)を選ぶ**

逆に選べます。

\*DEFEATを選んだときは、リスニングポジションを設定することはできません。

ディフェイト  
 DEFEAT\*  
 ↓  
 ドーム  
 DOME  
 ↓  
 コンサート  
 CONCERT  
 ↓  
 クラブ  
 CLUB  
 ↓  
 チャーチ  
 CHURCH  
 ↓  
 スタジオ  
 STUDIO

5秒以内に

**3 SELボタンを押してフォーカスのモードにする**

・お買い上げ時はシートポジション Seat P. ALLが表示されます。

5秒以内に

**4 +, - (音量) ボタンでリスニングポジションを選ぶ**

逆に選べます。

シート表示

Seat P. ALL : 全席

Seat P. FRONT : 前席

Seat P. DRIVER : 国産車運転席

Seat P. PASSENGER : 国産車助手席

+側を押したとき

〈お知らせ〉

- リセットボタンを押すと、「Seat P. ALL」に戻ります。

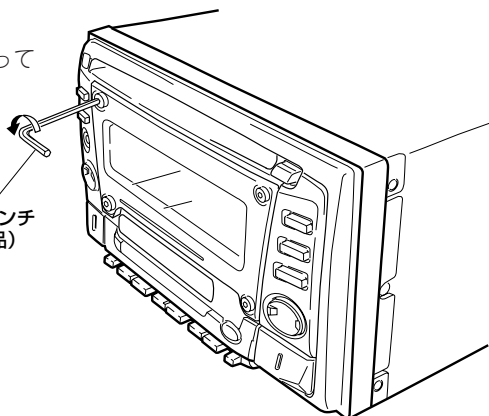
# カスタマイズプレートの着せ替え

## 1 六角レンチでネジ 4 本を外す

- ・外したネジを紛失しないように取扱ってください。

(予備のネジが 2 本付属してあります)

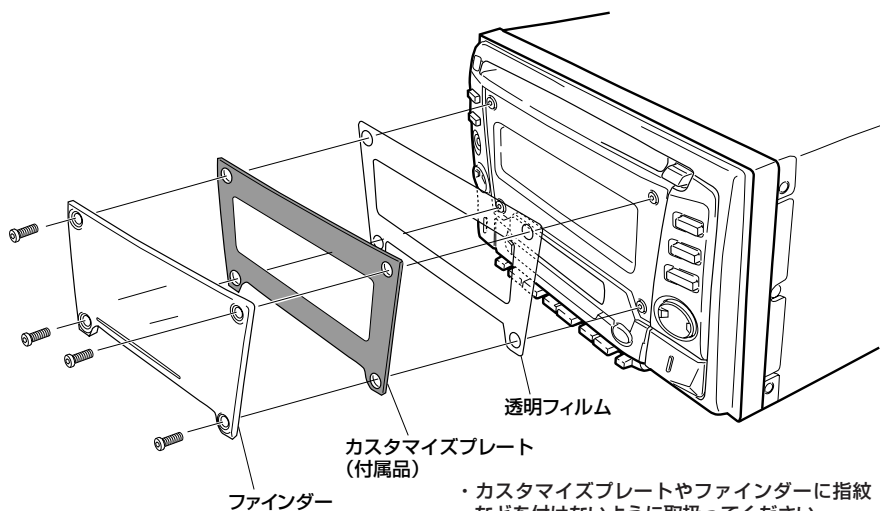
六角レンチ  
(付属品)



## 2 ファインダーとカスタマイズプレートを取り外す

- ・内側にプレートがあります。一緒に取り外します。

## 3 カスタマイズプレートをファインダーと一緒に本体にはめ込む



- ・カスタマイズプレートやファインダーに指紋などを付けないように取扱ってください。また、必ずカスタマイズプレートをファインダーより先にはめ込んでください。

## 4 ネジ 4 本で元通りに固定する

- ・ネジを締付けすぎないようにして固定してください。

# お手入れ

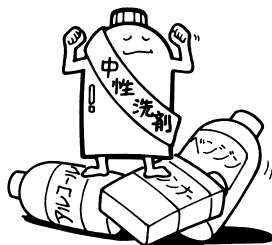
## 本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または**中性洗剤**を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

### ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



# 放送局名一覧

	放送局名	場所	周波数
北海道	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	旭川	85.8MHz
	〃	北見	86.0MHz
道(FM)	〃	函館	87.0MHz
	〃	帯広	87.5MHz
	〃	室蘭	88.0MHz
〃	釧路	88.5MHz	
北海	NHK第1	札幌	567kHz
	〃	釧路	585kHz
	〃	帯広	603kHz
	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	〃	675kHz
	NHK第2	北見	702kHz
	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	室蘭	864kHz
海	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	室蘭	1,125kHz
	〃	帯広	1,125kHz
	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	旭川	1,197kHz
道(AM)	HBCラジオ	帯広	1,269kHz
	HBCラジオ	札幌	1,287kHz
	〃	稚内	1,368kHz
	〃	釧路	1,404kHz
	STVラジオ	札幌	1,440kHz
	HBCラジオ	網走	1,449kHz
	NHK第2	函館	1,467kHz
	HBCラジオ	名寄	1,494kHz
	NHK第2	旭川	1,602kHz

	放送局名	場所	周波数
東北	FM岩手	盛岡	76.1MHz
	FM仙台	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	青森	80.0MHz
	FM山形	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	郡山	81.8MHz
地方(FM)	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	仙台	82.5MHz
	FM秋田	秋田	82.8MHz
	NHK-FM	盛岡	83.1MHz
	〃	福島	85.3MHz
〃	〃	青森	86.0MHz
〃	〃	秋田	86.7MHz
東北	NHK第1	盛岡	531kHz
	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	盛岡	684kHz
	NHK第2	秋田	774kHz
	NHK第1	仙台	891kHz
	山形放送	山形	918kHz
	秋田放送	秋田	936kHz
	NHK第1	青森	963kHz
	NHK第2	仙台	1,089kHz
	青森放送	青森	1,233kHz
地方(AM)	東北放送	仙台	1,260kHz
	NHK第1	福島	1,323kHz
	NHK第2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	福島	1,458kHz
	NHK第1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	山形	1,521kHz
	AFN	三沢	1,575kHz
NHK第2	福島	1,602kHz	
関東	インターFM	東京	76.1MHz
	FM栃木	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	東京	77.1MHz
	BAY-FM	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz
地方(FM)	放送大学	前橋	78.8MHz
	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	千葉	80.7MHz

	放送局名	場所	周波数
関東地方(FM)	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	∕	横浜	81.9MHz
	∕	東京	82.5MHz
	∕	水戸	83.2MHz
	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
関東地方(FM)	NHK-FM	さいたま	85.1MHz
	FM群馬	前橋	86.3MHz
関東地方(AM)	NHK第1	東京	594kHz
	NHK第2	∕	693kHz
	AFN	∕	810kHz
	TBSラジオ	∕	954kHz
	文化放送	∕	1,134kHz
	茨城放送	水戸	1,197kHz
	ニッポン放送	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	横浜	1,422kHz
栃木放送	宇都宮	1,530kHz	
中部地方(FM)	FM福井	福井	76.1MHz
	FM新潟	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	新潟県民エフエム	新潟	79.0MHz
	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	高山	80.0MHz
	FM石川	金沢	80.5MHz
	中部地方(FM)	FM AICHI	名古屋
NHK-FM		富山	81.5MHz
中部地方(FM)	∕	金沢	82.2MHz
	∕	新潟	82.3MHz
	∕	名古屋	82.5MHz
	FMとやま	富山	82.7MHz
	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
	NHK-FM	福井	83.4MHz
	∕	岐阜	83.6MHz
	∕	長野	84.0MHz
∕	甲府	85.6MHz	
∕	静岡	88.8MHz	

	放送局名	場所	周波数	
中部地方(AM)	NHK第2	静岡	639kHz	
	NHK第1	富山	648kHz	
	∕	名古屋	729kHz	
	北日本放送	富山	738kHz	
	YBSラジオ	甲府	765kHz	
	NHK第1	長野	819kHz	
	NHK第1	新潟	837kHz	
	福井放送	福井	864kHz	
	NHK第1	静岡	882kHz	
	NHK第2	名古屋	909kHz	
中部地方(AM)	NHK第1	福井	927kHz	
	∕	甲府	927kHz	
	NHK第2	富山	1,035kHz	
	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz	
	信越放送	長野	1,098kHz	
	北陸放送	金沢	1,107kHz	
	新潟放送	新潟	1,116kHz	
	NHK第1	金沢	1,224kHz	
中部地方(AM)	東海ラジオ	名古屋	1,332kHz	
	NHK第2	金沢	1,386kHz	
	静岡放送	静岡	1,404kHz	
	岐阜ラジオ	岐阜	1,431kHz	
	NHK第2	長野	1,467kHz	
	∕	福井	1,521kHz	
	∕	新潟	1,593kHz	
	∕	甲府	1,602kHz	
	近畿地方(FM)	FM CO・CO・LO	生駒山	76.5MHz
		E-Radio	滋賀	77.0MHz
Kiss-FM KOBE		姫路	77.6MHz	
FM三重		津	78.9MHz	
FM 802		大阪	80.2MHz	
NHK-FM		津	81.8MHz	
∕		京都	82.8MHz	
∕		大津	84.0MHz	
近畿地方(FM)	∕	和歌山	84.7MHz	
	FM大阪	大阪	85.1MHz	
	NHK-FM	神戸	86.5MHz	
	∕	奈良	87.4MHz	
	∕	大阪	88.1MHz	
	FM京都	京都	89.4MHz	
	Kiss-FM KOBE	神戸	89.9MHz	

# 放送局名一覧(つづき)

	放送局名	場所	周波数
近畿地方(AM)	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	京都	621kHz
	〃	大阪	666kHz
	NHK第2	大阪	828kHz
	ABCラジオ	〃	1,008kHz
	KBS京都	京都	1,143kHz
中国地方(AM)	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪	〃	1,314kHz
	和歌山放送	和歌山	1,431kHz
	FM岡山	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	松江	77.4MHz
	広島FM	広島	78.2MHz
中国地方(FM)	FM山口	山口	79.2MHz
	NHK-FM	松江	84.5MHz
	〃	山口	85.3MHz
	〃	鳥取	85.8MHz
	エフエム山陰	浜田	86.6MHz
	NHK-FM	広島	88.3MHz
中国地方(AM)	NHK第1	岡山	603kHz
	〃	山口	675kHz
	NHK第2	広島	702kHz
	山口放送	徳山	765kHz
	山陰放送	米子	900kHz
	NHK第1	下関	1,026kHz
	NHK第1	広島	1,071kHz
	NHK第2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	松江	1,296kHz
	中国放送	広島	1,350kHz
	NHK第1	鳥取	1,368kHz
	中国地方(AM)	NHK第2	山口
〃		岡山	1,386kHz
山陽放送		岡山	1,494kHz
AFN		山口	1,575kHz
NHK第2		松江	1,593kHz
四国地方(FM)		FM香川	高松
	FM愛媛	松山	79.7MHz
	FM徳島	徳島	80.7MHz
	FM高知	高知	81.6MHz
	NHK-FM	徳島	83.4MHz

	放送局名	場所	周波数
四国地方(FM)	NHK-FM	高松	86.0MHz
	〃	高知	87.5MHz
	〃	松山	87.7MHz
四国地方(AM)	高知放送	高知	900kHz
	NHK第1	徳島	945kHz
	〃	松山	963kHz
	〃	高知	990kHz
	NHK第2	高松	1,035kHz
	南海放送	松山	1,116kHz
九州地方(AM)	NHK第2	高松	1,152kHz
	四国放送	徳島	1,269kHz
	NHK第1	高松	1,368kHz
	西日本放送	〃	1,449kHz
	NHK第2	松山	1,512kHz
九州地方(FM)	Love FM	福岡	76.1MHz
	FM中九州	熊本	77.4MHz
	FM佐賀	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	長崎	79.5MHz
	FM鹿児島	鹿児島	79.8MHz
	FM福岡	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	FM宮崎	宮崎	83.2MHz
	NHK-FM	長崎	84.5MHz
	〃	福岡	84.8MHz
	〃	熊本	85.4MHz
九州地方(FM)	NHK-FM	鹿児島	85.6MHz
	〃	北九州	85.7MHz
	〃	佐世保	86.0MHz
	〃	宮崎	86.2MHz
	FM大分	大分	88.0MHz
	NHK-FM	〃	88.9MHz
九州地方(AM)	NHK第1	宮崎	540kHz
	〃	鹿児島	576kHz
	〃	福岡	612kHz
	NHK第1	大分	639kHz
	〃	長崎	684kHz
	〃	熊本	756kHz
九州地方(AM)	NHK第2	熊本	873kHz



	放送局名	場所	周波数
九州 地方 (AM)	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
	南日本放送	隼人	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	長崎放送	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	長崎	1,377kHz
	◇	鹿児島	1,386kHz
KBCラジオ	福岡	1,413kHz	
NHK第2	大分	1,467kHz	
◇	宮崎	1,467kHz	
AFN	佐世保	1,575kHz	
沖縄 (FM)	FM 沖縄	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN 沖縄	◇	89.1MHz
沖縄 (AM)	NHK第1	沖縄	549kHz
	AFN	◇	648kHz
	琉球放送	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	◇	864kHz
	NHK第2	◇	1,125kHz

# 故障かな?と思う前に



—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 ➔リセットボタンを押す。(➔9ページ参照) (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)</li> </ul>
CDやMDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量を適度に調節する。</li> <li>● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 ➔ラジオを聞くなどして1～2時間待つ。</li> </ul>
MDが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベル面を上にし、◀や▶の表示に従って正しく入れる。</li> <li>● すでにMDが入っているときは、MD▲(取出し)ボタンを押して取り出す。</li> </ul>
ディスクが出てきてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクの読み取りでエラーが発生しています。 ➔ディスクを入れ直す。または他のディスクを入れて本機が異常でないかを確認する。</li> </ul>
CD-R/CD-RWディスクの再生、スキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイナライズ処理がされていないため。 ➔ファイナライズ処理したディスクと交換する。または録音した機器でファイナライズ処理する。</li> </ul>
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンテナの接続を確認する。またはアンテナが十分に伸びているか確認する。</li> <li>● アンテナコントロール端子(またはアンテナブースター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源」コードを正しく接続する。</li> <li>● 放送局の周波数に正しく合わせる。</li> <li>● 携帯電話などを本機から離す。</li> </ul>
ディスクの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクの出し入れのときは、音声にミュートイングをかけて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。</li> </ul>
電源を切ったが「ATT」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①/ (電源) / ATTボタンを「SEE YOU」が表示されるまで…1秒以上…押す。</li> </ul>
電源が入らない。 (DISPボタンを押すと時計は表示される)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「電源(ACCライン)」のコードが接続されていないため。</li> <li>● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため。 ➔12ページ参照</li> </ul>

## 〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

## こんな表示のときは

表示	原因・処置
BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音されていないMDを入れたため。 →録音済みのMDと交換する。</li> </ul>
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスク名や曲名、グループ名が記録されていないとき DISPボタンを押したため。</li> </ul>
HIGH TEMP	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機の内部の温度が異常に高くなっている。 →CD▲またはMD▲(取出し)ボタンを押したあとラジオに切換えて温度が下がるのを待つ。</li> </ul>
NO PRE ADJ.	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。 →お買い上げの販売店にご連絡ください。</li> </ul>
EJECT ERROR	<ul style="list-style-type: none"> <li>●MD(またはCD)の取り出しができなかったとき。 →MD(またはCD)挿入口の障害物を取り除きMD▲またはCD▲(取出し)ボタンを押す。</li> </ul>
LOAD ERROR	<ul style="list-style-type: none"> <li>●MD(またはCD)が正しく挿入されなかったとき。 →MD(またはCD)の表面にキズや汚れがないか確認し、入れ直す。</li> </ul>
MECHA ERROR IC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内蔵のマイコンが誤動作したため。 →リセットボタンを押す。(→9ページ参照)</li> </ul>
NG DISC 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽以外のMD(データMD)を入れたため。 →音楽が録音されているMDを入れる。</li> </ul>
「MD  」または 「CD  」が点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>●盗難防止状態になっている。 →盗難防止状態を解除する。(→21 26ページ参照)</li> </ul>
●CDチェンジャー	
RESET 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>●CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 →CDチェンジャーとの接続コードを確認する。</li> </ul>
RESET <sup>数字</sup> ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 →CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。</li> </ul>

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間  
お買い上げの日から1年間

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

## 持込修理

④⑤～④⑥ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

### 保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎( ) -

# 主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

## MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 再生時間：再生モードSP：80分  
(MD80使用時) LP2：160分  
LP4：320分
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：92dB
- S N 比：93dB

## CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102dB

## チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクタ×1  
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dB $\mu$ (22.4 $\mu$ V)

## オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 45W+45W  
(4 $\Omega$ 、1kHz)  
リア 45W+45W  
(4 $\Omega$ 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 $\Omega$ (4 $\Omega$ ～8 $\Omega$ で使用可能)  
：DINジャック×1
- 入力端子：AUX( $\phi$ 3.5ステレオミニ)  
×1
- 出力端子：RCAピン×1系統  
2.0V/1k $\Omega$

## 電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)  
マイナスアース車用
- 取付寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行169mm
- 質量：約2.2kg(付属品含まず)
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

## 付属品

- ・カスタマイズプレート(着せ替え用)…2
- ・六角レンチ……………1
- ・接続コード(16ピンコネクタ)…………1
- ・ネジ(M5×6mm)……………8
- ・皿ネジ(M5×6mm)……………8
- ・六角ネジ(M2.6×6mm)……………2
- ・マウンティングプレート(日産車用) ……1

## 別売りのオプション品

- リモコン：RM-RK41J
- クリーニングキット：CK-25(CD用)
- MDレンズクリーナー：CL-ML
- RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)  
CN-510E(長さ1m)  
CN-520E(長さ2m)
- 接続コード(ステレオミニプラグ)：CN-203A(長さ1.5m)
- 変換コード：KS-U57

# 用語索引

## アルファベット・数字

- BTL……………6
- CD-R/CD-RW……………7 23
- SSM(ストロングステーションメモリー) ……14
- 1 曲リピート演奏……………24
- 8 センチCD ……22

## ア行

- アンテナリモート……………17
- イントロスキャン……………20 24 27
- オート選局……………14

## カ行

- グループスキップ機能……………19

## サ行

- サーチ……………18 22 26
- シーク……………14
- スキップ……………18 22 26

## タ行

- ダイレクト演奏……………19 23
- ダイレクトグループアクセス機能 ……19
- 盗難防止……………21 25
- 道路交通情報……………16

## ハ行

- バランス……………38
- ヒューズ……………6
- フェーダー……………38
- プリセット選局……………15

## マ行

- マニュアル選局……………14

## ラ行

- ランダム演奏……………20 24 27
- リピート演奏……………20 24 27

# メモ

---

メモ

## ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに  
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談  
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の  
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」  
をご覧ください。

**☎** 0120-977846(フリーコール)  
FAX(027)254-8927

受付時間 10:00~18:00  
(土、日、祝日、当社休日を除く)  
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

カーAV機器ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

# JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

## 日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ (027) 254-8926